

立命館經濟學

第50卷 第5号

2001年12月

奥村功教授退任記念論文集
内 容

奥村功教授退任記念論文集の刊行にあたって	角田修一	1
印象主義とアナーキズム	丹治恆次郎	3
——画家ピサロと批評家フェネオンの場合——		
『仮名手本忠臣蔵』七段目の翻訳をめぐって	山本邦彦	14
——ドナルド・キーンの英訳ヒルネ・シフェールの仏訳——		
近世三田藩史料に現れるフランス語関係の記述について	小山俊輔	34
『散文トリスタン』における回顧的物語の構造化の一側面	嶋崎陽一	54
久米邦武編『米欧回覧実記』におけるヨーロッパ像	西川長夫	66
対訳パーシー・ビッシャ・シェリ「ねむりぐさ」訳・木版画		
岡倉天心と帝国博物館	神保菘	83
『三四郎』の「新しい空気」	松宮秀治	110
スタンダールと国家	中村泰行	130
——『1817年のローマ、ナポリ、フィレンツェ』から— 仏女性、Alice Million Milliat (1884~1957) が	下川茂	158
「女性スポーツ界」に果たした足跡	岡尾惠市	168
雑誌『半月』における施蟄存	斎藤敏康	187
LA FEMME ET LA PETITE SERVANTE		
De Tsubouchi Shoyo Traduit du japonais	藤井フランソワーズ	200
コンピューターを用いた語学教育の現状分析	ビラール イリヤス	227
立命館大学フランス語教育の歩み	奥村功	240
幕切れのせりふ	奥村功	253
——フランスが教えてくれたこと——		
奥村功教授略歴・主要著作目録		268
『獲物の争奪』(La Curée) 翻訳(第4章)	中井敦子	308

立 命 館 大 学 經 济 學 会

立命館経済学 第50巻・第3号

論 説

ワルラスとマルクス、ケインズの原理の比較の試み 小檜山政克
20世紀の国際経済関係——絶えざる戦争の世紀 岩田勝雄

アジア・オセアニア・中南米・アフリカ11カ国

(オーストラリア・香港・インドネシア・マレーシア・
ニュージーランド・シンガポール・タイ・バミューダ・
ブラジル・メキシコ・南アフリカ)

非製造業における自己資本経常利益率決定

メカニズムの解明 伊道井研一

藤明司弘
澤裕司

「消費者」から「生活者」へ 森脇丈子

——大熊信行氏の「生活者」論を素材として——

研 究

国際資本移動の原因に関する一考察 黄駿

研究動向

イギリスにおける制度派経済学の新しい動向 小野進
——The Problem of Historical Specificity とドイツ歴史学派の再評価——

発行所 立命館大学経済学会

立命館経済学 第50巻・第4号

猪谷寛教授退任記念論文集の刊行にあたって 角田修一

アメリカの覇権と国際経済関係の展開 岩田勝雄

Software Review : 2つの英会話ソフト比較考察 上田眞理砂

「マラソン競争」が42.195 km の距離に設定されるまでの経緯 岡尾恵市

工学系大学卒業生の英語ニーズ分析 清水裕子

——質問紙調査に基づいて—— 小山由紀

パーシ・ビッシュ・シェリ「自由への賦」訳・木版画 神保菘

『エドガ・ハントリー』 高島清

——迷路としての人生——

The Teaching of Listening at a conversation school in Japan Iain Davey
立命館大学びわこ・くさつキャンパスにおける学部の

英語教育に関する調査と分析結果 :

野澤和典

教員対象の質問紙調査にもとづいて 清水裕子

The culture of Concealment in Japanese Society Leon D Piasetsk

The International Whaling Comunication 1949-1959 :

An Exercise in Uncertainty Becoming Certainty Michael Heazle

猪谷寛教授略歴・主要著作目録

「原始時代にかえる男」(翻訳&付記) 辻井榮滋

発行所 立命館大学経済学会